

議事録

次の会議を開催した。

会議名	令和7年度第2回藤沢市2040年問題及び長期ビジョン検討委員会
開催日	2025年(令和7年)11月13日(木) 15:10~16:05
場 所	本庁舎6階 庁議室
出席者	行政総務課長、企画政策課長、秘書課長、職員課長(欠席)、財政課長(途中退席)、防災政策課長、市民自治推進課長(欠席)、生涯学習総務課長、福祉総務課長、地域医療推進課長、子ども総務課長、環境総務課長、産業労働課長、建設総務課長、都市整備課長、道路下水道総務課長、病院総務課長、消防総務課長、教育総務課長
議 事	(1) 前回会議の開催結果について (2) 検討の方向性や確認事項について (3) その他
内 容	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 前回会議の開催結果について</p> <p>≪内容≫ 事務局から資料1を確認するよう案内し、詳細説明については省略。</p> <p>≪主な意見等≫ なし。</p> <p>(2) 検討の方向性や確認事項について</p> <p>≪内容≫ 事務局から資料2及び参考資料に沿って説明。 今後検討をするにあたり根底にある問いの確認と検討の視点の視点の確認、「藤沢市の未来予測」データ集の作成に係る意見照会を行った。</p> <p>≪主な意見等≫ ○研修について、どれくらいの規模感を想定しているのか、頻度や人数などは決まっているのか。頻度が多いと本来業務への影響が懸念される。 ⇒詳細は検討中だが、単発ではなく部長等から出席者を推薦していただき、年間を通じてまでやるかは未定だが、複数回同じメンバーで継続して検討していくことを想定している。そこで検討した内容をまたこの委員会にフィードバックをして議論をしていく。 ○研修で議論をするにあたっては、目線合わせや育成をまず行うことについてはどう捉えているか。</p>

<p>内 容</p>	<p>⇒ある程度事前レクチャーは必要だと認識しているが、調べることも研修の1つではないかと考えている。</p> <p>○データについて、2050年の推計だが、どこに根拠を置くかによって全く異なる数値になる。特に総務部は職員数だが、人口に即すシミュレーション、採用が厳しくなるので生産年齢人口に即した数など視点がいろいろ考えられるが、こういった視点を採用すればよいか。視点を持つに当たっての考え方についてあれば示してほしい。</p> <p>⇒統一的な基準は示しづらく、個別の項目毎によるところがある。職員数に関して言えば人口割の出し方や国が示す状況などを参考しながら一定の根拠を出しながら示してもらうことを想定している。</p> <p>○どれを根拠にしていくかは部局判断で良いか。</p> <p>⇒良い。</p> <p>○資料3の必要なデータリストと資料4のエクセルデータに相違があるが、どのように考えればよいか。</p> <p>⇒名称は簡易的な表現にしている。</p> <p>○実際に公共施設を管理する部門として2040年にむかっては厳しいと認識しているので、前向きに様々な数字を出していきたいと考えている。橋梁に関する数字なども出していきたいが、各課宛の依頼では道路の包括管理に関する数字を求められており、ミスマッチがあるのではないか。部局が必要だと思うデータを追加してもよいか。</p> <p>⇒この項目については、事務局が参考になりそうな数字をピックアップしたものであり、各部局がこういったデータが必要だと思う数字については適宜追加してもらいたい。そういった指摘についても後日メールでいただきたい。</p> <p>⇒もとはデータリストから検討をするのに事務局が特に必要だろうと絞り込んでいるため、その他の数値については部局判断で追加してほしい。</p> <p>○全体的な流れについて、検討の視点のギャップには市民のニーズがある。有識者も入るが行政の中だけで進めていくように聞こえるので、市民の意見を聞く場を設けるなどの考えはあるか？</p> <p>⇒長期ビジョンをつくるうえで市民の意見は欠かせないものと考えているが、早い段階で市民の意見を入れると議論が拡散してしまう恐れもあるため、ある程度方向性が固まった段階で意見を聴取することを考えている。</p> <p>⇒次期指針改定にあたっての取組という趣旨がある。これまで指針の改定での市民意見聴取は改定の前年度に実施をしているが、今回の改定の際には令和9年度など早い段階で意見聴取できないか検討中である。その際に、この取組と合わせていくことも検討していく</p>
------------	--

<p>内容</p>	<p>ことも考えたい。それよりももっと前に必要だという委員からの意見があれば、検討していきたい。</p> <p>○研修について、どんな議論をしてどんな成果を出すのか、若手がいいのか、など具体的に示してほしい。現時点での考えはあるか。</p> <p>⇒対象の職員は、2040年に中心的な役割を果たしていると考えられる主査級などの世代を中心にしたいと考えているが、研修の実施にあたっては職員課の意向も踏まえて検討をしている。具体的な成果については、まだ描けてはいないが、報告書のような形で何かしら出せたらと考えている。</p> <p>⇒形にすることは重要だと思っているが、2040年において何が起るのかを情報共有することも成果だと思っている。わかっていることを数値化してエビデンスにしていこうという取組なので、市が考え方を示す際に根拠を明確にしていくことも成果だと考える。</p> <p>○研修として参加する意識と、成果を出すという任務を背負って参加する意識の違いがあると思う。研修であれば意識づけも大事だと思うが、成果を出すとなると、過去の研修などでとん挫した事例もあるため、今回は継続性については次期指針に生かすということであるが、研修の位置づけをもう少し示していただきたい。</p> <p>⇒より現実的な方向での研修となるように進めたいと考えている。</p> <p>○指標の捉え方について、何をゴールとして目指しているのかがわかると、各部局も提出する数値の理由などが分かるのではないかと。担当課で持っている数字があると思うが、単純に数字がほしいのか、重ねていくともっといい指標になるものがあるのではないかと。例えば、駅が出来る、固定資産税が上がる、それに伴い緑化率があがるなどの予測をしながらやっていかないといけないのではないかと。もう少し最終的なつくりたいものがあれば指標の捉え方も変わるのではないかと。</p> <p>⇒将来目指す姿は、事務局から先に示すのが良いのかという意見もあり、悩ましいところではあるが、今の総合指針の第1章に20年後に向けた目標が記載されているため、そこを目標に推計を出すイメージである。</p> <p>○前回会議では事業の廃止について議論をしていくべきという意見もあることから、同時にやらないといけないのではないかと。議論が錯綜してもいけないので、どこかのタイミングで共有できればいいのではないかと。スケジュールがマスタースケジュールのようになっているので、そこに入れ込めないかと。</p> <p>⇒当然限られたリソースを考えたときに、事業の廃止にアプローチしないといけないと思うが、一連の検討の中で整理できるとも考えられるので、そこを含め検討していきたい。</p>
-----------	---

<p>内容</p>	<p>○下水道管の年数など、物の価値が単純な数字で出せるものの他に、施策の展開性を加味して出す数字があるので、どう数字を出していくか相談したい。</p> <p>⇒加味することでより現実味が近い数字がでると思うが、基本的には過去からの現状をもとに数字を出すと統一的な基準で数値が出せるのではないか。ただ、今進めている施策によって大幅に変わるのであれば、参考にする必要はあると考えている。</p> <p>○中には国や県が計画で示しているが進んでいない大きな事業もある。そこは一定程度、部局で決めて書くしかないのではないか。</p> <p>⇒推計にあたっての条件として補記していただきたい。</p> <p>⇒各部局で前提となる事項がそのまま進むのかの観点は、個々の案件によるとしか事務局としては明確に示せず、個々の条件を付してその上での推計として整理していただきたい。事務局が答えを出せるか分からないが、相談しながら進めさせていただきたい。</p> <p>○建設部局は令和9年度、10年度、11年度は大きな動きのある年度であり、村岡新駅や北部の開発の進捗などが令和9年度にみえてくることもある。このあたりでもう一回修正させていただくとより具体的な数字になると考える。</p> <p>⇒データのアップデートについては、必要に応じて大きく変わる部分だけでも更新していきたいと考えている。</p> <p>○データの目的は大きなトレンドを掴むことだと感じており、数値の精緻さよりも、増えているのか減っているのか、変化の幅が大きいのか小さいのか、等を捉えるものだと考えている。実際、2050年に数字を付け合わせたときには間違いなく全く異なる数字になると考えられる。そのため、厳密性などは問わなくても良いのではないか。</p> <p>○各部局が責任もって数字を出すとなると大きく予測とずれたときに部局へ飛んでくるのではないか。</p> <p>○5年後や10年後なら正確な数字は出せると思うが、25年後の2050年となるとトレンドを掴む程度しか出来ない。実際数字を活用する人もそういった理解のほうがよいのではないか。</p> <p>⇒緻密な積算は求めている。2040年問題は部局が抱えている漠然とした危機感を定量データとして数値化して一定根拠を持って数字を示すことで、その危機感が具体化して課題が炙り出されて、方向性の検討がよいものになるのではないかと考えている。一定の根拠は求めるが、そこまでの精緻さは求めている。</p> <p>⇒精緻化しないと責任が取れない、外にデータが一人歩きしてしまうと、そもそもこの取組が出来ないという懸念については事前にそうではないと確認している。まさに中期、長期、超長期についてトレ</p>
-----------	---

<p>内容</p>	<p>ンドを掴むことが趣旨である。データを修正する必要があるものは更新をしていくが、すなわち精緻化を求めるものではない。</p> <p>○経済部で言うところの将来予測はしづらい状況である。人口に紐づいているもの、インフラ系についてはそもそも長期的な目線で事業を考えており、精度が高く、長期予測がしやすい。そのため、部局によっては、将来予測がしやすいものとしにくいものが当然あるという前提の認識で出してよいか。長期予測がしにくいもの、特に藤沢市の予測が出せないものについては、全国や神奈川県統計を使って藤沢市のトレンドを説明するようにしたい。経済の人手不足など、市単独で推計するとコストや精密性が足りないものについては、全国レベルの推計を使ってトレンドを掴むことを了承していただきたい。</p> <p>⇒現実的に算出が難しい数値に関しては、国や県、民間企業などのデータからトレンドを出していただきたい。</p> <p>○数字が出せるものもあれば、施設の数字については今後のどうなっていくのかによって大幅に数字が変わる。施設の整備計画はこれから策定していくので、それを受けて出せる数字もあるが、イメージがないものもある。数字を出すと変に影響があることもあるので、今後事務局に相談したい。</p> <p>○数字が出せるものもあれば、施設の数字については施設が今後どうなっていくのかによって大幅に数字が変わる。施設の整備計画はこれから策定していくものもある。数字の出し方によっては余計な憶測を呼ぶ懸念もあるので、数字の出し方については今後事務局に相談したい。</p> <p>○最終的なゴールとして神奈川を考える50の視点についての話があったが、この資料で神奈川県政策局へいい意見がたくさん来たのかなど、評価などの情報はあるか。</p> <p>⇒神奈川県に確認したことはないが、ビジュアル的に検討のたたき台として良いのではないかと考えて示している。</p> <p>○機会があれば、反響や改善点など神奈川県に確認してほしい。</p> <p>⇒まずは意見があればいただきたい、それを踏まえて依頼文や回答のフォーマットを修正したうえで依頼をしていきたい。</p> <p>○部局の意見が聞きたいのは指標についてか、委員会の進め方も含めてついてか。</p> <p>⇒調査項目がこれでいいのか、追加したい項目や出せない項目などについて意見を伺いたい。</p> <p>⇒各課宛に依頼を出す前に整理してから出したほうがスムーズではないかと事務局としては考えている。メール等で意見照会をする。</p>
-----------	--

内容	<p>○今日の会議を各課に報告する内容としては、検討の方向性、来年度の研修について、検討するにあたりデータを必要としているため、事前に確認するということがよいか。</p> <p>⇒よい。</p> <p>○今後の依頼にはデータの精緻化の関係なども記載されるということによいか。</p> <p>⇒考え方も反映したうえで依頼をする。</p> <p>(3) その他について</p> <p>《内容》</p> <p>特になし。</p> <p>3 閉会</p> <p>事務局から次回の開催予定について連絡し終了。</p>
----	---